

おいしい卵でスイーツ&カフェ 笑顔が「ウフウフ」こぼれる



プレミアムたまごのパンケーキ「洋なしとホットカスタードのソース」
ふんわりオムライス



株式会社山田鶏卵（米沢市）

内容 たまごのスイーツ&カフェ
ウフウフガーデン ufu ufu FARM

取組みの成果

ウフウフとは、たまごのフランス語発音で、そこから思わず笑みが溢れる様子を表した。「新鮮なたまごをまじめにつくること。プラス、おいしいたまごでおもてなしするところ。」がガーデンのコンセプトだ。おいしいたまご料理を食べて笑顔になってほしいとの想いを込めている。

ウフウフガーデンの目的は、工場直送の新鮮なこだわりのたまごを地元中心に販売すること。当初は全然売れなかったが、パンケーキが話題になり、他のカフェメニュー、スイーツの売れ行きと共にたまごのおいしさ、良さが徐々に伝わっていき、現在は売上の半分を占めるまでになった。中でも入口に積み上げられた、形や色が少し不揃いのプレミアムたまご約50個入りのファミリーパックが好評だ。

カフェメニューでは、たまごのおいしさを存分に味わえる「たまごやの贅沢たまごかけごはん御膳」が人気で、地元米沢の米をふっくら炊き上げたごはんとなまごのおかわりは自由だ。また、パンケーキをはじめとするデ



ガーデンのすぐ近くにあるウフウフファーム
子どもだけでなく大人も楽しめる広大な敷地

ウフウフガーデンの店内にはたまご、テイクアウト用のスイーツの他、加工品などが並び

6次産業化の取組に至った経緯

株式会社山田鶏卵は、昭和31年、ひよこの販売業として創業、その後鶏卵販売を営んでいた。二代目の代表取締役山田浩樹さんは、鶏の飼育管理から飼料管理まで自社で責任を持つために、平成17年、生産農場山田ガーデンファームを設立し、世界一おいしいたまご作りを目指している。山形県特産の紅花や米ぬかを飼料に自家配合した「紅花たまご」をブランド化、通信販売を始めた。

通信販売は全国向けであるがもと地元の人に食べてもらいたいとの想いがあった。平成23年の「創意工夫プロジェクト」に取組み、ここから6次産業化が始まった。平成24年9月にたまごのスイーツ&カフェ ウフウフガーデンをオープンした。場所は米沢市中心地から約4kmと人里離れた場所、周りからは反対された。しかし、ここがひよこ販売を創業した場所であること、また、米沢市内のほとんどの洋菓子店が顧客であることに配慮し、米沢市中心部から離れたこの場所を選んだ。

今後の事業展開

今後は、ウフウフガーデンをさらにお客様に喜ばれる店として充実していくだけでなく、わざわざここまで足を運んだたまごを買ってくださるお客様がいることを真摯に受け止め、養鶏場の運営をしつかり行い、たまごを大切に加工して提供していく。農場の運営が原点であり、食の安全・安心は当たり前であり、今後もしっかりと取組んでいく。

ウフウフガーデンで提供している米、野菜は地元米沢のものを使っている。また、たまごの通信販売においても、

6次産業化の取組内容

当時ハワイのパンケーキがマスコミで話題になったこともあり、たまごのおいしさを伝えるために提供していたパンケーキが口コミで広がっていった。パンケーキをきっかけに、工場で朝採れた新鮮なこだわりのプレミアムたまごを使ったオリジナルのスイーツ、カフェメニューが人気となり、県外からの来客数も増え、週末には行列ができるほどの人気店となった。そのため入店できずに帰ってしまうお客様が増えてきたため、待ち時間対策として、平成27年、向かいの遊休地に花を植え、自由に遊ぶ生活雑貨を販売するウフウフファームをオープンさせた。



工場直送、かたちが不揃いのプレミアム新鮮たまご
3kg約50個入りのファミリーパック

山形県のおいしい商品のチラシを同封し、紹介することで、地域の活性化にも寄与していきたいと考えている。



ufu ufuとは、fresh&honesty(新鮮なたまごをまじめにつくること)
+friendly&hospitality(おいしいたまごでおもてなしをするところ)

事業者概要



代表取締役 山田 浩樹さん

株式会社山田鶏卵 ウフウフガーデン

代表者 山田 浩樹
住 所 米沢市成島町1-5-18
米沢市赤芝町1627-1(ウフウフガーデン)
電 話 0238-22-1000
0238-39-4040(ウフウフガーデン)
URL <https://www.yamada-egg.com>
<http://www.ufuuhugarden.com>